

やさしい、風

編集責任/ボランティアコーディネータ：大西ク宮子

編集協力/キートスボランティアさん達

ボランティア講座大盛況で終了

キートスホームで行われるボランティア講座も私が担当となって3回目を迎えました。以前は春に行われた講座でしたが、現在春は錦町の至誠ホームで行われています。担当の私もようやく、3回にしてすべてを把握できるようになった次第です。前はどうかと突っ込まないでください。今回の参加者は毎回定員20名を超すという盛況なもので、3.11の震災があったせいなのか、午前中に開催したせいなのかは分かりませんが、例年の倍以上の参加者でした。簡単な内容と参加者のアンケート結果の報告をします。



1日目「栗原園長の講義／特別養護老人ホームの仕組みとボランティア活動への期待」では、キートスホームに現在入居するとかかる費用はどのくらいか、といった具体的な話があり、アンケート結果でもとてもわかりやすくよかったですとありました。2日目「包括藤井職員の認知症講座／認知症サポーターになるために」では、話が上手でわかりやすかった、認知症を詳しく知りたい、この活動を続けて下さいなどがありました。3日目「食事介助、車いす操作」食事介助は4階奥山職員、車いす操作はホームヘルプ青木職員

が講師をしました。定員20名のところ、25人の参加となりました。食事介助では、初めてやったが、楽しい雰囲気作りが大切。車いすを押すスピードが大事。知識だけでなく、実技の経験ができた良かった。次は体位交換をやりたい、などがありました。

参加者も、立川市、国分寺市、小平市から来ていただき、Vo活動に興味がある、自分の学びの為にといいてこられました。中には、お母さんがよその施設でお世話になっているが、頻繁に行けないので、恩返しにこちらでVoをしたいという方もおられました。



二人組になって交差点を渡ります
危なっかしいところもありました



ゼリーを使ってお互いに食事介助の練習。
楽しそうでした

Vo 活動紹介

10月11日～20日まで、「東京賢治の学校」から高校2年生の男子2人が、体験学習でキートスにきました。本来なら、10月1日から来る予定でしたが、震災のVoをしたいということで、1週間仙台に行ったそうです。その後キートスには2週間いたので、話をされた方も多かったと思いますが、あえて彼らの震災先でのVo活動のお話を掲載します。



『仙台のとある町にVoでいきました。

津波発生第1波を逃げた元気な人たちが、船が心配と見に戻ったところを津波第2波にのまれ多くの方が亡くなり、老人の町になったそうです。二人がやった活動は、いずれ更地にされる、



崩れ壊れた家屋、その周りを、すさんだ状態にしておくのは、生き残った方が見るに忍びないということで、せめて取り壊されるまでの間きれいにしておき気持ちを楽にしてさしあげる、というものだったそうです。毎日瓦礫をかたづけ、草取りをし、寝るのは、体育館で寝袋の中という生活だそうです。二人はまたその町に戻って、Vo活動を続けたい』と言っていました。

その生活からキートスのお年寄りの中にはいったギャップはどうだったのでしょうか？

A君 実習報告から「3週間被災地での活動を望んだが、老人ホームに来てみると、自分が思っているほどつまらなくなく、逆に楽しかった。身近な老人にも愛の手を差し伸べるのは大事なことだと思った。」

B君 実習報告から「会話が大変だったと思った。私の声もはっきりしていないが、会話のやり取りが続かず苦労した。お年寄りの中にはとても元気で、年齢を聞いてみたら90歳代で驚いた。年齢と見た目の不一致の人が多かった。」二人の感想は高校生の感じる、生き生きとしたものでした。最後の日に2人は、各階、DHを回り、岩手県岩泉町中野地区の郷土芸能である「七頭舞」の一部披露と、ギター伴奏で「なだそうそう」を歌ってくれました。Kiitos。



劉薇 (リュウ ウェイ)
ヴァイオリン
コンサート



11月28日(月) ヴァイオリニストの劉薇さんのコンサートが行われました。劉さんはカーネギーホールでコンサートをされた、世界が認める方です。なぜキートスに見えたのか・・・？実は2階にお住まいの方とお知り合いで、その方にぜひご恩返しをしたいということで、コ

ンサートの運びとなりました。当日は、多くの方が聞きたいということで、食堂を開けて、100名以上の方が集まりました。難しい曲はなく、聞きやすく、気持ちの良い選曲にして下さり、皆さん和やかな気持ちになって、過ごすことができました。Kiitos♡♡♡



ハッピーバースデー
103歳



4階にお住まいのAさん。11/10で103歳のお誕生日を迎えました。ライア演奏Voと、キートスの庭にある花束をVoに作っていただき、お祝いすることができました。長寿万歳♡



第20回全国ボランティアフェスティバル TOYOUレポート

1年に1回、全国規模での持ち回りで
行われる「ボランティアフェスティバル」
が今年も東京で行われました。
会場は1日目両国国技館、2日目青山国
連大学、青山大学他

今年は3.11の震災があった中で、どんなVo活動あったのかな？私の中で感じているVoの意識と他方で活動する方たちとの感覚、意見などに出会いたくて参加しました。全国から集まってくる人の熱気はすごいな、と感じました。Voのあるべき姿も変わりつつある中で、地域を重視する動きが強くなってきた、と実感しました。震災などでも、まずは地域で助け合って、次の助けを、地域の人で助け合って待つというかたちが良いのかなと思いました。また、居ても立っても居られないが、手伝いに行けない、何とかしてあげたいという気持ちも、義捐金というかたちになってあらわれました。Voの形はさまざまであると感じました。

また震災の中で、Voをしてもらうだけではなく、してあげて価値を見出すことができる、という報告を聞き、Vo活動の大切さを感じました。心に残った報告を掲載します。参考にして下さい。

仙台でのVo報告（興梠寛） 被災地の子供が、やっとできた図書館でVoの女性に本を読んでいた。いつもやってもらうことを逆にしていた。してもらったことをお返ししたかったのかな。Voは一方通行ではいけない。また、花を飾る時、家の中に飾るのでなく、通る人に見えるようにしたらそれもVo活動になる。「志は高く、ハードルは低く」を目指した活動を提案されていました。

シンポジウムから（阿部志郎） Voをしているが、辞めたいと思ったことはない。Voはしなくてもよいが、しないのは恥ずかしいという気持ちになって欲しい。3.11震災で、道一つ隔てて自分の家が残った高校生が「自分の家が被災しないのが皆に申し訳ない」といっていた。この気持ちは大事である。刑務所でVo活動をしているが、この震災が起きた後で、受刑者が月6000円の給料にもかかわらず、6000万円の寄付が集まった。何かしたくて、いてもたってもいられない気持ちの表れとなった。

お知らせ

☆ギャラリー11/29～12/25 DH 絵画ボランティア鳥居美都琉さんの絵画展が開催中です。

新年作品展は12/26～1/8まで開催予定。

☆12月の趣味活動変更

- ・特養書道：12/15 中止。
- ・英語クラブ：12/14, 21に変更。
- ・DH音楽隊 12/19 中止、12/22 クリスマス会
- ・珈琲倶楽部：12/28（水）まで。1/5（木）始まり。
- ・散歩クラブ：12/21 まで。

☆明治学院ハンドベルクワイヤコンサート

12月24日（土） 14：00～15：00

素晴らしいコンサートを聞きに来て下さい。

ボランティア保険加入のお願い

ボランティア活動を安心して行っていただくために保険の加入をお願いします。

保険料は¥500/年度です。当施設で半額負担
しますので、個人負担は¥250です。

どうぞご加入下さい。



12月24日(土)

14:00～15:00

